

I 岡山大学の理念、目的等／博士前期及び後期課程の人材養成目的／教育目標等

1 岡山大学の理念 “高度な知の創成と的確な知の継承”

人類社会を安定的、持続的に進展させるためには、常に新たな知識基盤を構築していかねばなりません。岡山大学は、公的な知の府として、高度な知の創成（研究）と的確な知の継承（教育と社会還元）を通じて人類社会の発展に貢献します。

2 岡山大学の目的 “人類社会の持続的進化のための新たなパラダイム構築”

岡山大学は、「自然と人間の共生」に関わる、環境、エネルギー、食糧、経済、保健、安全、教育等々の困難な諸課題に対し、既存の知的体系を発展させた新たな発想の展開により問題解決に当たるといふ、人類社会の持続的進化のための新たなパラダイム構築を大学の目的とします。

このため、我が国有数の総合大学の特色を活かし、既存の学問領域を融合した総合大学院制を基盤にして、高度な研究とその研究成果に基づく充実した教育を実施します。

3 岡山大学の教育理念・目標

岡山大学は、大学が要請される最重要な使命である教育活動を充実させます。

これまでの高度な研究活動の成果を基礎として、学生が主体的に“知の創成”に参画し得る能力を涵養するとともに、学生同士や教職員との密接な対話や議論を通じて、個々人が豊かな人間性を醸成できるように支援し、国内外の幅広い分野において中核的に活躍し得る高い総合的能力と人格を備えた人材の育成を目的とした教育を行います。

教育理念

- ・ 自然と人間の共生を希求する。
- ・ 多様な文化・価値観を尊重する。
- ・ 地域と世界の発展に寄与する。

教育目標

- | | |
|--------------------|--------------------|
| ・ 探求・創造する知性の育成 | —自ら問いかけ学ぶ教育— |
| ・ 豊かな教養と高度専門性の追求 | —知の体系に根ざし専門を伸ばす教育— |
| ・ 異文化理解に基づいた国際性の獲得 | —様々な文化・民族に親和する教育— |
| ・ 社会的責任を担う個の確立 | —自己と他者を認め合う教育— |

4 人材養成目的

大学院医歯薬学総合研究科博士前期課程薬科学専攻

創薬を中心とする薬学及び関連分野における高度な専門知識と技能を持ち、豊かな創造力並びに問題解決能力を備え、製薬、食品、化学関連企業において医薬品等の開発を担う研究者・技術者として活躍できる人材、大学や研究機関の教育者・研究者として活躍できる人材、医薬品や衛生に関する指導や行政で活躍できる人材を養成する。

大学院医歯薬学総合研究科博士後期課程薬科学専攻

物理化学、分析科学、有機化学、生薬・天然物化学、生物科学、および生物薬剤学等を基盤とする新規医薬品の創製を目的に、生命現象の生理的維持制御ならびに疾患の発生に係る要因の解明について薬学的見地から科学的に研究し、広く人類の健康に貢献する創薬研究のスペシャリストの養成を目指す。

5 教育目標

大学院医歯薬学総合研究科博士前期課程薬科学専攻

前記の人材養成目的の実現を図るために、以下の教育目標を掲げる。

1. 創薬に必要な薬学領域における高度専門的知識基盤の形成と技能習得とともに、基礎的・教養的知識の修得を目指す教育を推進
2. 自由な発想に基づく創造的研究の遂行により、課題探求能力および問題解決能力を醸成する教育・研究を推進
3. 豊かな人間性と国際感覚、創薬に係わる高い使命観、倫理観を涵養する教育を推進
4. プレゼンテーション能力や対話能力を養成する教育を推進

大学院医歯薬学総合研究科博士後期課程薬科学専攻

前記の人材養成目的の実現を図るために、以下の教育目標を掲げる。

1. 新規生理活性物質の探索ならびに化学的合成、物性評価、薬効評価、体内動態特性評価、高次機能を有する製剤化など新規医薬品の創製に向けた創薬アプローチ
2. 1. に関連する最新の研究法の理解と研究成果の発信
3. 生体における分子制御機構に基づいた生命現象と疾患時の生体制御機構の修復と制御に向けた薬学的アプローチ
4. 3. に関連する最新4の研究法の理解と研究成果の発信

【 参 考 】

岡山大学管理学則

(大学院の目的)

第53条 岡山大学大学院は、学術の理論及び応用を教授研究し、その深奥をきわめ、又は高度の専門性が求められる職業を担うための深い学識及び卓越した能力を培い、文化の進展に寄与することを目的とする。

2 大学院のうち、学術の理論及び応用を教授研究し、高度の専門性が求められる職業を担うための深い学識及び卓越した能力を培うことを目的としたものは、専門職大学院とする。